

06 款	農林水産業費	01 項	農業費	02 目	農業総務費
事業名		農畜産物放射能被害対策費			単位：円
事業内容	<p>東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により放射能汚染及び風評による被害を受けた農畜産業への対策を行う。</p> <p>畜産業においては、牧草地の除染作業及び公共牧場の利用自粛に伴う畜産農家等の自家施設で飼養管理を行った場合のかかり増し経費への補助を行う。</p> <p>原木栽培しいたけにおいては、流通規制解除に向けた汚染ホダ木の処理及びホダ場除染を実施する。</p>			計画値	<p>牧草地除染対象面積 4,880ha</p> <p>汚染しいたけホダ木処理 25,000本</p> <p>しいたけホダ場除染作業 29人分</p>
	<p>牧草地の除染作業は全体のうち約1,122haが完了した。岩手県では平成26年度で除染作業を完了させることとしていることから、関係機関と協力のうえ、作業に取り組んでいく。</p> <p>また、自家施設で飼養管理を行った畜産農家へのかかり増し経費に対する補助を行い、畜産農家の生産継続に努めた。</p> <p>今年度新たに発生した基準値を超えるしいたけのホダ木29,843本を収集・チップ化し、生産者の不安要因を取り除いた。</p> <p>また、しいたけホダ場の除染作業を実施し、安心して栽培できる環境づくりを実施した。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
395,324,000	212,474,325	202,140,591	0	0	10,333,734

06 款	農林水産業費	01 項	農業費	02 目	農業総務費
事業名		農畜産物放射能被害対策費（繰越明許費）…農林業系副産物焼却			単位：円
事業内容	<p>東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により汚染された牧草の処理及び公共牧場等の牧草地の除染を行う。</p> <p>また、汚染牧草のサンプリングや裁断等を行う前処理施設に設置した集じん機に、悪臭対策のための脱臭装置を臭いの強くなる夏場の状況をとらえて機種を選定し整備する。</p>			計画値	<p>処理対象牧草等 約1,500t</p> <p>牧草腐敗臭用脱臭装置購入 1基</p>
	<p>平成25年度、農家に保管されている利用自粛牧草等の収集、保管は全て完了した。</p> <p>汚染牧草焼却のための前処理施設に設置した集じん機に悪臭対策のための脱臭装置を接続した。前処理施設テントから排出される空気に含まれる原因物質を除去できるようになり、周辺住民への配慮として欠かせない牧草腐敗臭の脱臭対策が整った。</p> <p>なお、整備方法は、環境省補助の規定に合わせ、当初予定した備品購入からリース方式に変更して実施。リース期間全体は、平成25年12月1日から平成27年11月30日まで。 (平成25年度) 338,100×4ヵ月= 1,352,400円</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
37,103,000	30,895,400	30,219,200	0	0	676,200

06 款	農林水産業費	01 項	農業費	03 目	農業振興費
事業名		中山間地域等直接支払事業費			単位：円
事業内容	<p>中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農用地において、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動等を行う活動組織に対して交付金を交付する。 協定に定めた農用地管理及び農業生産活動における体制整備強化の目標が達成されるよう、積極的に支援を行う。</p>			計画値	農用地管理の目標達成協定 60協定 協定面積 8,037,035㎡
	<p>60協定の全てにおいて、農用地管理の目標が達成され、中山間地域における農用地の保全がなされた。 また、担い手への作業委託や農業機械の共同利用など、事業を通じて地域の営農体制整備が図られ、農業生産活動における体制整備強化の目標を設定した48協定全てで目標が達成された。</p>			実績値	農用地管理の目標達成協定 60協定 協定面積 8,037,035㎡
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
119,517,000	119,474,238	89,220,807	0	65,784	30,187,647

06 款	農林水産業費	01 項	農業費	03 目	農業振興費
事業名		とおの農業担い手支援総合対策事業費			単位：円
事業内容	<p>遠野市の未来を担う認定農業者の育成及び確保、集落営農組織の経営の複合化・多角化及び基盤強化を図り、園芸、畜産等の産地を拡大し、並びに地域資源を活用した6次産業化を推進するため、認定農業者である法人及び団体等が事業を行う場合に要する経費に対し、補助金を交付する。 また、特定法人農地貸付事業によって、市内の株式会社等が農業生産を行うことを目的とする農地保有について、農家との仲介を行い、特定法人の農業参入に努める。</p>			計画値	補助団体数 2件 特定法人農地貸付事業者数 4事業者
	<p>市内の2団体の事業に対し、補助金の交付を行った。高性能農業機械導入により、水稻の作業の効率化と担い手への農地集積が進む環境を整えた。 また、特定法人農地貸付事業によって、4事業者に対し農地の貸付を行い、企業の農業参入の支援に努めた。</p> <p>1 機械利用組合下郷 …田植え機導入(補助率 3/10) 2 新爪営農組合 …コンバイン導入(補助率 3/10)</p>			実績値	補助団体数 2件 特定法人農地貸付事業者数 4事業者
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,173,000	2,977,800	1,568,000	0	625,800	784,000

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					野生鳥獣害防止対策事業費	単位：円
事業内容	野生鳥獣による農作物被害や人身被害を防止するため、駆除、防除、人材育成の3つを柱に、対象鳥獣別の効果的な対策を図り、個体数の削減及び被害防除の強化に取り組む。			計画値	ニホンジカ捕獲計画	300頭
					ツキノワグマ捕獲計画	10頭
成果	ニホンジカは、捕獲に対する補助の拡大等により、計画を上回る516頭の捕獲実績（前年比155%）となり、個体数の削減に努めることができた。ツキノワグマは、目撃や被害の発生が例年以上に多く、計画を上回る捕獲頭数となった。 カラスは、市内6カ所に設置しているわなを利用した通年捕獲により、農作物被害防止に取り組むことができた。 防除対策では、電気牧柵の設置支援に取り組み、特に、3戸以上の農家がまとまり団体で農地を防除する場合の補助率を上げ、広範囲で農地を防除することができた。			実績値	ニホンジカ捕獲実績	516頭
					ツキノワグマ捕獲実績	27頭
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,590,000	18,875,495	135,352	0	16,000,000	2,740,143	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					畑作振興事業費	単位：円
事業内容	1 ホップ生産に必要であるトワイン（撚り紐）について、生分解性プラスチック紐に切り替える経費の一部を助成することにより、生分解性プラスチック紐の使用の定着化を図る。 2 葉たばこの立ち枯れ病の予防対策として、薬剤の購入に係る経費の一部を助成することにより、葉たばこの生産量と品質の向上を図る。			計画値	ホップ環境支援対策事業生分解性紐導入	225,600本
					葉たばこ立ち枯れ病予防対策事業	計画面積 12.9ha
成果	1 ホップのトワインについて、生分解性プラスチック紐に切り替えることにより、収穫後において堆肥化が可能となり、廃棄物処理に係る労働力を軽減しホップの生産性向上が図られた。 2 葉たばこの立ち枯れ病に関して、予防対策を講じることにより、被害の拡大防止が図られた。			実績値	ホップ環境支援対策事業生分解性紐導入	225,600本
					葉たばこ立ち枯れ病予防対策事業	実績面積 12.9ha
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,225,000	6,305,897	0	0	0	6,305,897	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名 遠野米産地確立対策事業費					単位：円
事業内容	米穀の需給調整実施要領に基づき、需要に応じた米づくりを推進することにより需給と価格の安定を図るため、米の生産数量調整に係る取り組みに対して支援する。 また、遠野米の高品質安定収量を推進するため、遠野地方病虫害防除推進協議会が実施する病虫害防除事業に対して支援する。			計画値	平成25年産米生産数量目標面積換算 1,963ha カメムシの集団防除面積(団地化) 250ha
	平成25年産米に関して、岩手県から通知を受けた生産数量目標以内の作付実績であり、生産調整が達成された。 また、平成26年産米に係る農業者別生産数量目標の配分及び水稻生産実施計画書の取りまとめを実施した。 病虫害防除に関しては、防除組合等が組織化され効率的な防除体制が図られたとともに、ほ場を団地化し集団で一斉防除する取り組みに対し助成することにより、カメムシ被害が抑制され、農業者の所得確保につながった。			実績値	平成25年産米生産数量実績面積換算 1,937ha カメムシの集団防除面積(団地化) 197ha
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,122,000	7,094,187	505,000	0	500,000	6,089,187

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名 堆肥センター管理費					単位：円
事業内容	耕畜連携の循環型農業を推進するため、畜産農家が排出する家畜排せつ物から堆肥を製造し、田や畑の地力向上に寄与する。			計画値	家畜ふん尿受入量 4,000t 堆肥販売量 2,400t
	耕畜連携の循環型農業を推進するため、畜産農家が排出する家畜排せつ物から堆肥を製造し、販売した。 大地肥太1号(主に水稻や麦・大豆用) 1,368.4t 大地肥太2号(主に畑用) 747.9t 大地肥太2号(袋詰堆肥)5,330袋 95.9t			実績値	家畜ふん尿受入量 3,573t 堆肥販売量 2,212t
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,864,000	14,131,952	0	0	12,150,144	1,981,808

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					単位：円	
タフ・ビジョン推進事業費						
事業内容	農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）の「7つの目指すべき姿」の実現にむけて、関係機関及び団体の連携及び協働体制の更なる強化を図る。 また、各種重点課題への取り組みのため、専門的農業知識や農業振興に豊富な経験を有するアドバイザーを配置し、農地の有効活用、高収益農家拡大と新規就農者確保と育成のための事業を行い、より一層の農業振興を図る。			計画値	アドバイザー等配置 6人 認定農業者数 415経営体 耕作放棄地解消面積 30ha	
	成果	農地利用集積アドバイザー、農業活性化アドバイザー、地域活性化アドバイザー、担い手支援アドバイザー、畜産振興アドバイザー、林業振興アドバイザーの6人のアドバイザーの配置により、各種重点課題への取り組み及びきめ細かな農家の相談や農業技術の指導、新品目等の導入支援を行った。 また、地域の担い手となる認定農業者の掘り起こしと農業経営の改善を支援した。 耕作放棄地の再生事業により、耕作放棄地の一部解消に結び付けた。			実績値	アドバイザー等配置 6人 認定農業者数 379経営体 耕作放棄地解消面積 2.0ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,843,000	15,991,658	0	0	15,000,000	991,658	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					単位：円	
わさびブランド確立支援事業費						
事業内容	遠野市を代表する特産品の一つである「わさび」の生産振興を図り、産地として継続して安定生産・出荷できる環境を整備するため、優良種苗の安定供給の体制整備や生産者協議会が実施する取り組みに対して支援する。 また、一般社団法人遠野わさび公社について、進化まちづくり検証委員会の報告を踏まえ、自立に向けた新規事業等の実施に対して支援する。			計画値	【遠野わさび公社】 事業収入 5,450,000円 わさび苗生産本数 33,000本 わさび出荷量 670kg	
	成果	遠野わさび公社の新規事業である根わさびの生産及び販売について、平成23年度から実施している「わさびの定期出荷」の取り組みを継続支援することにより安定的出荷体制が確立され、販売価格の向上につながった。 また、経営規模拡大について、遊休ほ場 40aを借り上げ、一部定植作業を実施するなど、遠野わさび公社の事業が着実に進められている。 一方、第28回全国わさび品評会において、本市のわさび生産者が根茎の部で優秀賞を受賞するなど、わさびの品質向上に向け一定の成果を得ることができた。			実績値	【遠野わさび公社】 事業収入 5,723,091円 わさび苗供給本数 35,621本 わさび出荷量 1,819kg
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,450,000	7,450,000	0	0	0	7,450,000	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					遠野ふるさとあぐりスクール事業費	単位：円
事業内容	<p>農業者の高齢化が急速に進行する中で担い手の確保が喫緊の課題となっていることから、新規就農者の育成や新規作目技術の習得の機会を設け、就農者の確保を図る。</p> <p>また、青年等が地域農業の担い手として農業振興及び地域活性化に寄与する人材育成を図るため、国内外の農業研修に要する経費に対し補助金を交付する。</p>			計画値	講座回数	6回
					研修者	国内 1人 国外 1人
成果	<p>農業に従事する後継者育成や新規就農者を対象に、土づくりから野菜の栽培、農産加工、農業研修などを実施した。講座の受講により出荷面積の拡大や就農に向け前向きに動き出している方もおり、就農者の確保につなげることができた。</p> <p>【実地研修】</p> <p>1 農業体験コース ... 野菜作り、土作りの基礎、野菜の栽培技術など</p> <p>2 プロ農家に学ぶコース ... 専業農家の圃場での現地説明会</p> <p>3 農産加工研修コース ... スモークチキン作り、山ぶどうのつるかご作り</p> <p>【国内外研修事業】</p> <p>イタリア ... 野菜作りと活用方法、農家レストラン・農家民宿の経営など</p>			実績値	講座回数	12回
					農業体験コース	7回(延べ68人)
			プロ農家に学ぶコース	2回(延べ19人)		
			農産加工研修コース	3回(延べ32人)		
			研修者	国外 1人		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,333,000	1,212,453	0	0	15,000	1,197,453	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					経営所得安定対策推進事業	単位：円
事業内容	<p>経営所得安定対策実施要綱に基づいて、遠野市農業再生協議会が実施する制度の周知活動、現地確認、営農計画書の取りまとめ等に要する経費を支援する。</p>			計画値	米の直接支払交付金申請面積	1,792ha
					主食用水稲作付面積に対する申請面積の割合	91.00%
成果	<p>制度への加入促進を図るためパンフレットの配付やケーブルテレビによる周知等を行うとともに、関係機関、団体の協力により申請受付や現地確認など、円滑な事業の実施を支援した。</p>			実績値	米の直接支払交付金申請面積	1,796ha
					主食用水稲作付面積に対する申請面積の割合	92.69%
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,336,000	9,300,000	9,300,000	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名					単位：円
食育と地産地消推進事業費					
事業内容	食と農に関する学習や農業体験等を通じて、次代を担う子ども達が、食べ物、食生活、農業・農村などについて興味を持ち、正しい理解を深めてもらうことを目的に、市内小・中学校PTAに活動費を支援し、食育活動の推進を図る。 また、食育農場の設置や産直連絡協議会の活動支援を行うとともに、地元食材を使った学校給食メニューの開発を行い地産地消の推進を図る。			計画値	市内小・中学校PTA支援団体数 11校
					産直連絡協議会連絡会開催数 2回
成果	遠野市産直連絡協議会を中心に、講習会の開催やスタンプラリーを実施したほか、食料品アクセス対応モデル業務の実施により産直による宅配事業の検証を行うなど、地産地消の推進が図られた。 また、小学生の農業体験等の活動のほか、遠野地方Y・Y・Y推進女性の会による地元食材を使い開発したメニューを学校給食の献立としての提供を通じて、食育に対する理解を深めることができた。			実績値	小・中学校PTA支援団体数 11校
					産直連絡協議会連絡会開催数 3回 農業者支援講習会開催数 5回 産直による宅配実績 22回
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,260,000	873,116	0	0	0	873,116

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名					単位：円
青年就農給付金事業費					
事業内容	青年が新規に就農する前後の所得を確保することにより、青年の就農の意欲を喚起し、就農した後の定着も促し、青年の就農者数の増大を図るため青年就農給付金事業を実施する。 【給付額】 夫婦での就農 225万円/年 個人での就農 150万円/年			計画値	給付経営体 夫婦 4経営体 個人 10経営体
成果	今後の地域農業の中心的な担い手となる新規の青年就農者に対して、農業経営が不安定な就農直後の所得を確保するための給付金を交付した。 また、関係機関との連携を図り、巡回訪問や情報交換会等を開催し、新規就農者の育成支援に努めた。			実績値	給付経営体 夫婦 6経営体 個人 3経営体
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18,875,000	18,875,000	18,000,000	0	875,000	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名 ASTパワーアップ事業費					単位：円	
事業内容	遠野市農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）に基づき、遠野の特色を生かした野菜・花き等の生産振興を図り、地域農業を担う意欲ある多様な農業者の育成・確保と所得向上を図る。 また、農業の六次産業化、経営の多角化・高度化を進める取り組みの推進等を通じて、意欲のある農業者の所得向上に向けた様々な取り組みに対して支援を図る。			計画値	元気アップチャレンジ事業 7件 ハウス導入支援 8棟 生産者への視察支援 7団体 重点品目の推進 ほうれんそう 8.0ha ピーマン 3.7ha ニラ 2.4ha アスパラ 3.0ha	
	成果	重点品目や施設園芸品目を中心とし、意欲ある農業者（グループ）の取り組みに対して支援を行った。 1 元気アップチャレンジ事業を含めて、39事業への支援及び実施 2 生産者グループの視察研修、技術習得への取り組み支援 3 旬な農林業情報の発信 「アスト通信」を毎週水曜日に放送し、農業者のみならず幅広い方々からも好評を得た。			実績値	元気アップチャレンジ事業 10件 ハウス導入支援 8棟 生産者への視察支援 8団体 重点品目の推進 ほうれんそう 8.0ha ピーマン 3.6ha ニラ 2.5ha アスパラ 3.2ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
20,000,000	19,104,623	0	0	0	19,104,623	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名 農地集積協力金事業費					単位：円	
事業内容	地域農業マスタープランを実現するため農地集積に協力する者に対して、農地集積協力金（経営転換協力金、分散錯圃解消協力金）を交付する。 【交付額】 1 経営転換協力金 1戸当たり (1) 0.5ha以下 300千円 (2) 0.5ha超2.0ha以下 500千円 (3) 2.0ha超 700千円 2 分散錯圃解消協力金 10aあたり5千円			計画値	0.5ha以下 2戸 (76a) 0.5ha超2.0ha以下 3戸 (267a)	
	成果	地域マスタープランを実現するために農地集積に協力する者として計画どおり5戸の農家の協力を得ることが出来き、経営転換協力金を交付した。 経営転換協力金 0.5ha以下 300千円×2戸 = 600千円 0.5ha超2.0ha以下 500千円×3戸 = 1,500千円			実績値	0.5ha以下 2戸 (76a) 0.5ha超2.0ha以下 3戸 (267a)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,100,000	2,100,000	2,100,000	0	0	0	

06 款	農業振興費	01 項	農業費	03 目	農業振興費
事業名		小友町農産物直売加工施設等機能強化事業費（繰越明許費）			単位：円
事業内容	少子高齢化により集落の維持が困難となってきた地域において、総務省の補助金を活用し、以下の事業に取り組みコミュニティの維持と地域の活性化を図る。 1 移動型スクリーン商店事業 高齢で移動手段が限られている交通弱者のため、集会場等で産直ともちゃんの商品を中継による映像で紹介し、注文を受けた商品を集会場等まで配送するサービスを実現する。 2 中学校跡地利活用事業 農産物直売組合が活用する加工場を整備し、地域産業の活性化を目指す。また、地域団体の活動スペースを整備することで、地域コミュニティの場を確保する。			計 画 値	移動型スクリーン商店 実施回数 6回 利用者数 60人 販売総額 60,000円 地域特産品の開発 2品目
	成果	総務省補助金の交付決定に伴い、事業内容を大幅に見直した。移動型スクリーン商店については最低限の備品購入とし、会場も地区センター1会場としたが、8回開催することができ、利用者数、販売総額ともに予想を上回る結果となった。地元のNPO団体が主体となり次年度以降の実施も決まるなど、地域内の取り組みとして定着させることができた。 中学校跡地利活用について、補助金の範囲内で改修を実施した。農産物直売組合による地域特産品の開発については既存施設の活用に留まったものの、定期的な勉強会や研修会を重ね、「白小豆羊かん」の試作品を完成させることができた。			実績 値
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
20,091,000		7,425,780		5,000,000	その他
					一般財源
					2,425,780

06 款	農業振興費	01 項	農業費	04 目	畜産業費
事業名		畜産振興総合対策事業費			単位：円
事業内容	地域畜産業の振興を図る上で、生産意欲向上、各種協議会負担金などソフト的な支援を実施する。 公共牧場の機能維持向上を図り、豊富な草資源を生かした放牧利用をしながら低コスト、質量兼備、高能力、高品質な和牛生産に取り組む。 また、酪農経営の向上を図るための牛群検定の推進を図るなど、地域畜産の総合的な振興を図る。			計 画 値	和牛子牛出荷頭数 2,000頭 牛群検定普及定着化 17戸・488頭 養豚出荷頭数 25,500頭 ブロイラー出荷羽数 642,000羽
	成果	放射性物質被害により放牧事業の利活用の促進は図られなかったものの、農家の生産意欲向上、地域畜産物の普及推進、安心・安全の確保のため各種協議会へ参画し、情報の収集及び普及啓発を図り適正な経営指導に努めることができた。			実績 値
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
4,992,000		4,862,974		585,000	その他
					一般財源
					4,029,974

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費	
事業名 家畜防疫事業費					単位：円
事業内容	<p>地域畜産業における家畜防疫対策を進め、生産性維持と農家個々の防疫意識の高揚を図る。 家畜の防疫対策の情報共有の場として、遠野地域家畜防疫連絡協議会を中心に、有事の際の対応にあたる。</p> <p>法定検査 ...種畜衛生検査、ヨーネ病検査、みつばち腐蛆病検査</p>			計 画 値	種畜衛生検査 1頭
					ヨーネ病検査 467頭
成果	<p>各種法定検査を実施し、家畜の防疫に努めた。 平成22年度に市内で大量に発生した牛アカバネ病について、平成23年度から予防対策強化を行い、防疫率向上に努め平成25年度の発生を防ぐことができた。</p>			実 績 値	みつばち腐蛆病検査 210群
					牛アカバネ病予防接種 3,425頭
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,205,000	1,055,322	101,232	0	0	954,090

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費		
事業名 馬事振興ビジョン推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>1 本州唯一の「遠野市乗用馬市場」への優良な遠野産馬の上場を目的に、遠野馬の里での乗用馬育成調教費用の一部を助成する。</p> <p>2 市内の馬資源の確保及び生産頭数増加を図るため飼養管理費等の低コスト化の支援、種付け料の一部を助成する。</p> <p>3 「まちなか馬車運行」を行い、馬とのふれあいを通して、まちなかの活性化や馬事文化が一層身近なものになるように努める。</p> <p>4 遠野市乗用馬市場・共励会が40回目を迎えることから、これまで馬生産や馬事振興に顕著な業績をあげた方々の功労を称える40周年記念事業実施に対し経費の一部を助成する。</p>			計 画 値	<p>馬市場取引金額 2,200万円</p> <p>馬生産頭数 30頭</p> <p>まちなか馬車運行乗車人数 80人</p> <p>記念誌の発行 300冊</p> <p>表彰式典の実施 1回</p>	
	<p>1 10月29日(火)に第40回遠野市乗用馬市場を開催。市場歴代最高価格335万円を記録し、販売総合計額2,356万円と前年を大きく上回った。購買者側の意向を踏まえ初めて平日開催としたこと、加えて遠野産馬情報発信業務委託を行い、ホームページを活用し全国へ向けた情報発信などの取り組みが成果につながった。</p> <p>2 乗用馬生産者の負担する飼養管理費等の低コスト化を図るため、馬の里の越冬放牧施設の利用を促進し、加えて農用馬生産者の意欲喚起のため遠野産馬生産基盤整備事業の利用を促進した。</p> <p>3 「まちなか馬車運行」は、7月20日(土)から8月25日(日)までの期間の土日を中心に10回実施した。夏場の観光イベントの一つとして観光客等に好評で、馬とのふれあいを通し馬事文化のPRを行った。</p> <p>4 40周年記念事業を平成26年3月20日(木)、サンパークやなぎを会場に開催した。遠野の産馬振興等に貢献した方々に感謝状を贈呈したほか、「40周年記念誌」や「卓上カレンダー」を作製し、関係者に配布した。中央馬事団体、県内の馬事団体、加えて地元馬事関係者も参集し100人をもって式典は盛会に行われた。</p>				実 績 値	<p>馬市場取引金額 2,356万円</p> <p>馬生産頭数 30頭</p> <p>まちなか馬車運行乗車人数 96人</p> <p>記念誌の発行 300冊</p> <p>表彰式典の実施 1回</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,295,000	4,032,400	476,000	0	0	3,556,400	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					遠野馬の里運営事業費	単位：円
事業内容	乗用馬・農用馬の繁殖改良、乗用馬の育成調教及び市民や乗馬愛好者に愛される馬事公苑づくりと、日本一の乗馬生産地の形成を目指した馬事振興を図り、もって観光資源としても地域の活性化に資する遠野馬の里運営事業に要する経費に対し補助金を交付する。			計 画 値	乗馬体験	800人
	1 育成調教事業補助金 2 ホースパーク事業補助金 3 乗用馬育成事業補助金 4 屋根付きロング馬場建設補助				屋根付きロング馬場施設	1基
成果	遠野馬の里競走馬部門は、平成23年10月に運営管理を民間会社にシフトした以降、安定した経営が図られている。 また、乗用馬部門は、遠野産馬の資質の更なる高レベルを図るため、冬季でも調教可能な屋根付きロング馬場を整備したことにより、通年で調教できる施設環境が整った。			実 績 値	乗馬体験	722人
					屋根付きロング馬場施設	1基
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
72,496,000	72,041,882	0	0	0	72,041,882	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					遠野型畜産確立推進事業費	単位：円
事業内容	いわて遠野牛を生産から販売まで一連のストーリーとして行う。 その中で、黒毛和牛繁殖部門については、優良繁殖雌牛の更新促進や規模拡大対策を行うため、優良繁殖雌子牛導入や、優良牛自家保留を実施して、黒毛和牛子牛の産地形成を図る。 また、黒毛和牛肥育部門については、和牛の繁殖から肥育まで一貫した生産体制を築き、「いわて遠野牛」のブランド確立と普及定着並びに肉牛生産農家の肥育技術研鑽及び生産意欲の高揚を図るとともに、肥育素牛の導入並びに保留の推進を図る。			計 画 値	繁殖牛管内保留	50頭
					繁殖牛基牛導入	50頭
成果	遠野市畜産振興公社及び(株)遠野牧場、遠野市食肉組合が連動し、市内外を問わず遠野産牛の周知及び販促事業を実施した。特に、市内飲食店への訪問を実施し、市内での流通及び消費拡大行動を実施した。 また、市内農家と連携し、黒毛和種の保留、導入支援及び農家の生産基盤整備に対する支援を行い、繁殖、肥育の一貫生産体制の構築を図った。			実 績 値	肥育牛基牛保留	15頭
					肥育牛基牛導入	15頭
予算額		決算額		財源内訳		
				国県支出金	地方債	その他
14,255,000		13,607,700		0	0	0
				一般財源		
				13,607,700		

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費															
事業名					公共牧場再編整備事業費	単位：円														
事業内容	公共牧場間の機能分担を図りながら地域公共牧場の再編整備を進め、基幹牧場について草地造成、草地改良整備や隔障物整備、草地管理機械等の整備を一体的に行う。このことにより、牧場の生産性や利用率を改善し、飼料自給率の向上を図ることで飼料基盤に立脚した生産性の高い大家畜生産の実現に寄与する。			計	【大野平工区(キャトルセンター)】 牛舎 6 棟、バンカーサイロ 5 基 キャトルセンター用地取得 22.14ha															
				画 値	【荒川工区】 雑用水整備 50m 草地改良整備 1 ha															
成果	平成23年度から建設していた大野平キャトルセンターが完成した。施設は成牛 100頭、子牛 300頭、妊娠・治癒牛40頭の 440頭規模であり、成牛や子牛を畜産農家から預かり、育成及び飼養管理する施設である。この施設を活用することにより、これまでの夏山冬里方式から周年預託方式に転換され、年間を通じて牧場への預託が可能となる。平成26年度以降に整備される関連機械及び草地整備により、生産コストの削減や効率的な草地管理が図られることから、農家からの作業受託や粗飼料供給を実施していく。今後は、キャトルセンターを活用した、いわて遠野牛の増頭対策とブランド確立を推進していく。			実	【大野平工区(キャトルセンター)】 牛舎 6 棟、バンカーサイロ 5 基															
				績 値	【荒川工区】 雑用水整備 50m 草地改良整備 2.16ha															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
144,833,000		144,131,850		715,000		141,500,000		0		1,916,850										

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費															
事業名					公共牧場機能強化事業費	単位：円														
事業内容	公共牧場再編整備事業にて整備予定の、大野平キャトルセンター等の運営開始に向けて、人材の確保及び育成を図る。			計	人材雇用	2人														
				画 値																
成果	これまで育成を進めてきた人材を大野平キャトルセンターの試験供用の際に登用し、安定的な施設運営と施設稼働に対する課題等の報告作成を実施するなど、遠野市畜産振興公社の経営改革の趣旨にも挙げられる、同公社の地域農業の担い手化を推進することができた。			実	人材雇用	2人														
				績 値																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
1,713,000		1,712,220		0		0		0		1,712,220										

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					単位：円	
公共牧場再編整備事業費（繰越明許費）						
事業内容	公共牧場間の機能分担を図りながら地域公共牧場の再編整備を進め、基幹牧場について草地造成、草地改良整備や隔障物整備、草地管理機械等の整備を一体的に行う。このことにより、牧場の生産性や利用率を改善し、飼料自給率の向上を図ることで飼料基盤に立脚した生産性の高い大家畜生産の実現に寄与する。			計 画 値	【石羽根工区(キャトルセンター)】 旧牛舎解体 3棟 牛舎改築(牛舎他4棟) バンカーサイロ4基、ホロ-ター-1台 【大野平工区(キャトルセンター)】 ホロ-ター-1台 用地取得 28.08ha 【荒川工区】 雑用水整備 50m 草地整備改良 8.21ha	
	成果	国の緊急経済対策による計画の前倒して石羽根キャトルセンターを建設し3月に完成。			実 績 値	【石羽根工区(キャトルセンター)】 旧牛舎解体3棟、牛舎改築(牛舎他4棟)、バンカーサイロ4基、看視舎改修、ホロ-ター-1台 【大野平工区(キャトルセンター)】 ホロ-ター-1台 【荒川工区】 雑用水整備 50m 草地改良整備 8.21ha
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
575,803,000	538,761,414	265,934,000	267,700,000	0	5,127,414	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					単位：円	
公共牧場再編整備事業費（事故繰越）						
事業内容	公共牧場間の機能分担を図りながら地域公共牧場の再編整備を進め、基幹牧場について草地造成、草地改良整備や隔障物整備、草地管理機械等の整備を一体的に行う。このことにより、牧場の生産性や利用率を改善し、飼料自給率の向上を図ることで飼料基盤に立脚した生産性の高い大家畜生産の実現に寄与する。			計 画 値	【大野平工区(キャトルセンター)】 牛舎6棟、バンカーサイロ5基 【荒川工区】 雑用水整備 50m	
	成果	東日本大震災の影響により遅れていた大野平キャトルセンターの建設が11月に完成し、平成26年1月から試験供用を開始。平成26年4月から本供用を開始した。			実 績 値	【大野平工区(キャトルセンター)】 牛舎6棟、バンカーサイロ5基 【荒川工区】 雑用水整備 50m
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
155,086,000	155,086,000	155,086,000	0	0	0	

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費			
事業名 県営ほ場整備事業負担金（県営事業負担金）					単位：円		
事業内容	<p>「農業農村整備事業管理計画」及び「希望郷いわての農業農村整備計画」に基づき作成される事業計画に基づき、ほ場の区画整理・関連事業を一体的に実施し、基盤整備を図る。</p> <p>また、事業完了地区においては、基盤整備を契機に担い手への農地の利用集積を促進し、効率的かつ安定的な農業経営の実現を図る。</p>			計画値	土淵地区進捗率 100%		
	成果	<p>小区画ほ場を標準区画・大型区画ほ場に整備することにより、ほ場の連坦的農地集積を可能とし、大型機械体系の確立と作業時間の軽減を図るための整備が推進された。</p> <p>また、新規のほ場整備事業を導入するため、営農構想の具現化、事業計画策定を行うため計画調査を実施した。</p>			実績値	土淵地区進捗率 100%	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,068,000		4,068,000		0	0	0	4,068,000

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費			
事業名 松崎地区県営ほ場整備促進事業費					単位：円		
事業内容	<p>昭和62年2月5日に遠野中央土地改良区（現遠野市土地改良区）と市が松崎ほ場整備事業に係る道路、橋拡幅、水路移設等の費用の一部を市が負担する契約を締結し、それに基づく償還金債務負担を履行する。</p> <p>債務の総額： 272,261,796円 償還期限： 平成25年度</p>			計画値	負担金 27,222,691円		
	成果	<p>松崎ほ場整備事業に係る道路、橋拡幅、水路移設等の費用の一部を市が負担する契約に基づき償還金債務負担を履行し、総額 272,261,796円の償還を終了した。</p>			実績値	負担金 27,222,691円	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
27,223,000		27,222,691		0	0	0	27,222,691

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 経営体育成促進事業費					単位：円	
事業内容	<p>将来の農業生産を担う望ましい経営体を育成するため、ほ場整備（農業生産基盤整備）を契機として担い手に農地の利用集積を図るべく、次の事業を実施する。</p> <p>1 営農組合の組織強化を図り、農作業の流動化を推進する。 2 農作業の効率化や担い手の経営規模拡大を図るため、集落間の農地の団地化を推進する。 3 営農組合役員会、運営会議を開催し、諸問題を解決する。</p>			計 画 値	面的集積向上率 49.1%	
	成果	<p>1 ブロックローテーションを中心とした農作業の流動化や農地の集団化を推進した。 2 定期的に役員会、運営委員会を開催し、諸問題の解決に取り組んだ。 3 平成25年度の面的集積率は、104.9haであった。</p>			実 績 値	面的集積向上率 85.5%
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,105,000	1,102,965	605,000	0	0	497,965	

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 農地・水保全管理支払事業費					単位：円	
事業内容	<p>地域における農地・水・環境の良好な保全と資質向上を図るため、農地・農業用水・農道等の保全向上に関する地域ぐるみでの共同活動や非農業者・子どもを含めた多様な参画による農村環境保全活動、さらには老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取り組みに対して交付金を交付し総合的に支援する。</p> <p>交付金の負担区分割合は、国2分の1、県4分の1、市4分の1となっており、それぞれの負担分は岩手県農地・水・環境保全向上対策地域協議会に負担金として支出し、地域協議会から各活動組織に交付金が交付される。</p>			計 画 値	活動組織数 共同 27活動組織 復旧 23活動組織	
	成果	<p>共同活動実施活動組織では、遊休農地解消に向けた取り組みや水路、農道等の修繕活動のほか、農村環境保全の取り組みとして小・中学生や婦人会、老人クラブなど多様な参画者による花壇整備やゴミ拾い、水質調査等が行われ地域における農業用施設及び農村環境の保全と意識啓発が図られた。</p> <p>復旧活動実施活動組織では、集落での自主施工や建設業者等への委託により、市内で約 6.2kmの水路が補修・更新された。</p>			実 績 値	協定農用地面積 共同 119,713a 復旧 86,448a
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,167,000	14,117,013	227,200	0	0	13,889,813	

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	地籍調査費													
事業名					地籍調査事業費	単位：円												
事業内容	<p>国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査する事業である。地籍調査の成果は、土地に関する諸施策の基本資料として幅広く活用されるとともに法務局に送付され、不動産登記の記載が改められることで所有者の資産の保安全管理や事業等の円滑な進行が図られる。</p> <p>旧宮守村では昭和50年度で全域完了。旧遠野市では、昭和55年度から調査開始され、現在も調査中である。</p>			計 画 値	一筆地調査	5.65km ²												
					閲覧	2.90km ²												
成果	<p>一筆地調査（現地調査）は、上郷町細越の一部 5.65km²を対象に実施し、所有する土地一筆ごとに隣接者との立会により境界を決定し、細部測量を行った。</p> <p>また、平成24年度に細部測量を行った上郷町細越の一部 2.90km²は、地籍図原図と地籍簿案を作成し閲覧を行った。閲覧後は岩手県の認証を受け、法務局へ調査の成果を送付することとなる。</p>			実 績 値	一筆地調査	5.65km ²												
					閲覧	2.90km ²												
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
20,726,000		20,332,679		13,665,000		0		0		6,667,679								

06款	農林水産業費	02項	林業費	01目	林業総務費													
事業名					林業振興国際シンポジウム開催事業費	単位：円												
事業内容	<p>外務省主催の日本・オーストリア両国間の交流・相互理解の促進を目的とした国際会議を遠野市で開催する。</p> <p>【開催概要】</p> <p>1 テーマ 地域社会や経済の活性化に向けた林業と木材利用の重要性</p> <p>2 期日 平成25年7月1日から2日</p> <p>3 開催内容 1日目 委員会会合、公開シンポジウム、歓迎レセプション 2日目 現地視察（木工団地、木造公共施設、沿岸被災地）</p>			計 画 値	参加者数	100人												
	成果	<p>日・オーストリア委員会は、日墺（オーストリア）外相会談の合意により両国間の交流・相互理解を目的とする国際会議で、平成25年度のテーマが「木材利用」であったことから遠野市開催となった。</p> <p>開催にあわせ、遠野市の森林・林業振興に関する取り組みや、沿岸被災地における木造復興住宅に関する取り組みをPRすることができた。</p>			実 績 値	7月1日（月） シンポジウム参加者 150人												
			7月2日（火） 現地視察（委員のみ） ・大槌町表敬訪問 ・大槌町復興公営住宅 建設現場 ・遠野木工団地															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
500,000		496,782		0		0		0		496,782								

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費			
事業名 市有林造林事業費					単位：円		
事業内容	遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。			計 画 値	間伐	31.53ha	
	市有林面積 第一種市有林 1,939.6 ha、第二種市有林 103.7 ha 計2,043.3 ha 推定材積 56万立方メートル				除伐	4.14ha	
成果	間伐等の施業実施による市有林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。			実 績 値	造林	2.76ha	
					下刈り	9.85ha	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12,148,000		9,619,050		6,076,841	0	3,013,009	529,200

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費			
事業名 国土保全森林対策事業費					単位：円		
事業内容	森林の公益的機能の高度な発揮と市内森林資源の質を高めるため、森林所有者などによる森林整備に対して助成を行うことにより、総合的かつ集中的な間伐の実施及び造林・保育の促進と森林環境の保全を図る。 具体的には、国・県の間伐等補助事業への嵩上げと、間伐材を搬出した経費等に対して単独で助成を行う。			計 画 値	間伐	300ha	
	・森林整備事業（国・県補助68%対象事業）への嵩上げ22% ・間伐材搬出 1,800円/m3				造林	10ha	
成果	間伐、造林の着実な実施及び間伐材の搬出が行われたことにより、水源かん養、土砂流出防止等森林の有する多面的な機能が維持・増進された。 また、伐採後の再造林等の実施により、適切な森林整備を行うことができた。			実 績 値	搬出材積	3,000m3	
					間伐	101.62ha	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,000,000		24,999,587		0	0	0	24,999,587

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 スクラムかみへい復興住宅支援事業費					単位：円	
事業内容	遠野地域木材総合供給モデル基地（木工団地）内の総合力を発揮するとともに、上閉伊地区の連携を強化し、地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達など、スクラムかみへい復興住宅の提供体制を強化を図るために、団地内での加工・生産技術の開発と地域材の需要拡大に向けた活動を支援する。			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設木造化促進活動（復興支援含） ・新商品開発活動（スーパー遠野ウォール構造計算ソフト開発補助） ・情報発信活動 	
	<p>スクラムかみへい復興住宅は、上閉伊地域の木材産業・工務店が協力し、地域木材を使った提案型住宅である。沿岸被災地の土地造成の遅れから本格的な住宅建築は平成27年度以降となる見込みであるが、被災地の住宅再建に資するため協力体制を継続する。</p> <p>新商品開発活動で導入した丸棒加工機により、地域材利用の増加が図られた。特に間伐材を有効に利用でき、切捨て間伐減少などで森林の環境整備につなげることができた。</p> <p>また、遠野地域木材総合供給モデル基地への視察に積極的に対応し、森林・林業に関する理解を深めることができた。</p>				実 績 値	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設木造化促進活動 スクラムかみへい復興住宅普及活動 ・新商品開発活動 丸棒加工機導入（1/10助成） 1,350千円 ・情報発信活動 ホームページ運営 視察 13団体 182人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2,000,000	1,705,172	0	0	0	1,705,172	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 松くい虫対策事業費					単位：円	
事業内容	平成23年度から遠野市内全域が松くい虫の被害地域に拡大されたため、被害木を発見した場合は駆除が必要となる。特に宮守町、綾織町、小友町での被害が多くみられることから、被害拡大を防ぐため、枯損木を発見した場合には早期駆除を行う。			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> 処理材積 370m3 樹幹注入 200本 	
	<p>松くい虫被害が多くみられる宮守町、綾織町、小友町の区域を中心に県森林病虫害防除員との連携により防除体制を強化し、被害の早期発見・早期駆除の徹底を図ったほか、未被害地域への被害拡大防止に努めた。</p> <p>また、福泉寺周辺山林のアカマツに対し樹幹注入を行い、松くい虫被害の予防に努めた。</p>				実 績 値	<ul style="list-style-type: none"> 処理材積 202.73m3 樹幹注入 333本
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
17,246,000	12,117,151	11,595,862	0	0	521,289	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 森林のくに振興事業費					単位：円	
事業内容	間伐等の森林整備を実施しようとする森林所有者の、事業実施前に支払う前金の負担を軽減するため、遠野市及び遠野地方森林組合が出資を行い、遠野地方森林組合において補助金相当額を貸付けることで円滑な事業実施を推進する。 貸付金は、事業完了後の補助金交付の時点で精算、返戻される。			計画値	整備面積	319.13ha
	森林所有者の一時的な負担を軽減することができ、健全な森林の育成及び間伐作業員の雇用による地域山村の振興と活性化を図ることができた。				実績値	整備面積
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
25,000,000	25,000,000	0	0	25,000,000	0	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 しいたけ生産振興対策事業費					単位：円
事業内容	原木しいたけ生産拡大を図り、産地化を目指す。 平成23年3月の東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による影響で出荷が規制され、生産意欲が減退した原木栽培しいたけの生産継続を図るため、新たに植菌するための原木及び種駒の購入に対する助成や、市有林から安価に原木をあっ旋するなどし、原木しいたけ生産継続を促す。 原木栽培しいたけ生産継続緊急対策事業助成内容 原木しいたけ植菌にかかる原木購入1本あたり75円を助成 種駒購入の実費に対し2分の1の額を助成			計画値	生産継続緊急対策事業による植菌本数 30,000本(生産者20人) 市有林原木あっ旋 30,000本(生産者20人)
	平成24年度から26年度までの3ヵ年を予定し実施する遠野市原木栽培しいたけ生産継続緊急対策事業では、今年度生産者22人が35,300本を新たに植菌した。この事業により出荷規制解除となった際に遠野産原木しいたけが安定的に生産される。 出荷規制解除に向けては、平成25年秋から県による生産者毎の規制解除申請のための検査が実施されている。 また、市有林からの原木のあっ旋により、原木しいたけの栽培環境を整えることができた。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,185,000	3,662,575	0	0	0	3,662,575

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 林道開設事業費					単位：円	
事業内容	<p>県営林道工事において必要とする林道用地等の買収実施とそのための調査測量等を行なう。 現在実施中の県営林道工事は平野原線であり、全体延長 L = 9,295mのうち、平成25年度までに L = 2,909m完了し、進捗率は約31%である。</p>			計 画 値	用地買収 12,954㎡	
	成果	<p>現在県営工事実施中の平野原線の用地買収12,954㎡を実施し、事業推進を図った。</p>			実 績 値	用地買収 12,954㎡
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,000,000	2,211,362	0	0	0	2,211,362	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 緑のふるさと協力隊受入事業費					単位：円
事業内容	<p>NPO法人地球緑化センターが派遣する「農山村に大きな関心を持った若者たち」を1年間受け入れし、市内での農畜林業の体験や地域に密着したさまざまな活動を通じて、遠野市のPRや住民の活性化を図る。</p>			計 画 値	受入隊員数 1人
	成果	<p>市内の農家、農業生産法人、市が行うイベント等での活動のほか、伝承保存活動への参加など、積極的に住民と触れ合うことで地域住民や各種団体の活性化が図られた。 活動を通じて知り得た「遠野」をインターネット(で・くらす遠野サイト内)で、また、ふるさと通信の発行と活動報告会を行うことにより市内はもとより全国に情報発信した。 緑のふるさと協力隊員が主体となって、NPO法人地球緑化センターの実施する短期プログラム「若葉のふるさと協力隊」3人を受け入れ共に活動することにより、さらに「遠野」をPRすることができた。</p>			実 績 値
				情報発信 ブログ公開 45回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回	
			活動日数 274日	情報発信 ブログ公開 42回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回	活動日数 274日
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,564,000	2,388,008	0	0	0	2,388,008

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 森林整備地域活動支援事業費					単位：円
事業内容	<p>国の「森林・林業再生プラン」の森林管理・環境保全直接支払制度ソフト事業の位置づけとして、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付する。</p> <p>森林所有者から森林経営の委託を受けた者による面的なまとまりを持って作業路網や森林の保護に関する事項も含む計画の作成を促進する「森林経営計画作成促進」の活動に対し交付金を交付する。</p>			計画値	協定面積 5,507.62ha 森林経営計画策定数 4件 経営委託面積 45.0ha
	<p>市内6カ所での森林経営計画の説明会、市内22カ所の山林における調査実施により、森林経営計画策定のための情報収集に要した実費に対し、交付金を交付した。</p> <p>交付金交付額 893,431円</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,720,000	893,431	747,390	0	0	146,041

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 高性能林業機械導入事業費					単位：円
事業内容	<p>間伐整備の推進による間伐材等の利用促進、伐採後の再造林など、適切かつ積極的な森林管理のため、素材生産の採算性改善のための設備投資に対する支援を行い、搬出間伐の効率化を図るため、高性能林業機械の導入に要する経費に対し交付金を交付する。</p>			計画値	ハーベスタ 1台 フォワーダ 1台
	<p>立木の伐倒、枝払い、測尺、玉切りをするハーベスタと、林内の伐採木を搬出するフォワーダの高性能林業機械2台を導入し、伐出コストの低コスト化、作業の効率化及び集約化を図った。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,040,000	22,040,000	13,680,000	0	0	8,360,000